

## 「おいしが うれしが」キャンペーンおよび環境こだわり農産物についての アンケート結果

県では、地産地消や県産農畜水産物等の消費拡大を推進する「おいしが うれしが」キャンペーンや、農薬・化学肥料の使用量を減らし、琵琶湖などの周辺環境に配慮した栽培を実践する「環境こだわり農業」の推進に取り組んでいます。

これらの制度をより良いものとするため、施策に対する県民の皆様の認知度や関心、意見等を頂戴するためにアンケート調査を実施しました。

★調査時期：令和7年12月

★対象者：県政モニター300人

★回答数：251人(回収率83.7%)

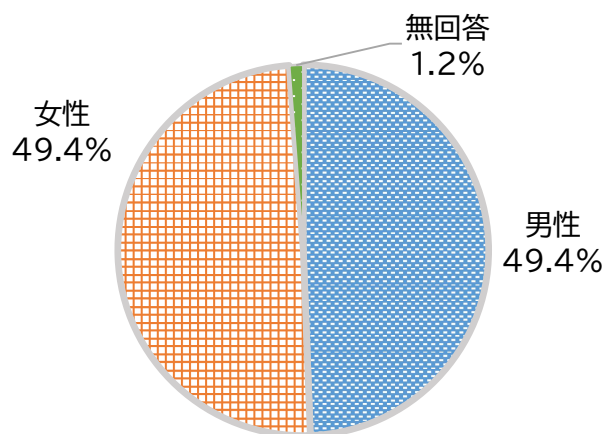
★担当課：農政水産部 미래の農業振興課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

### 【属性】

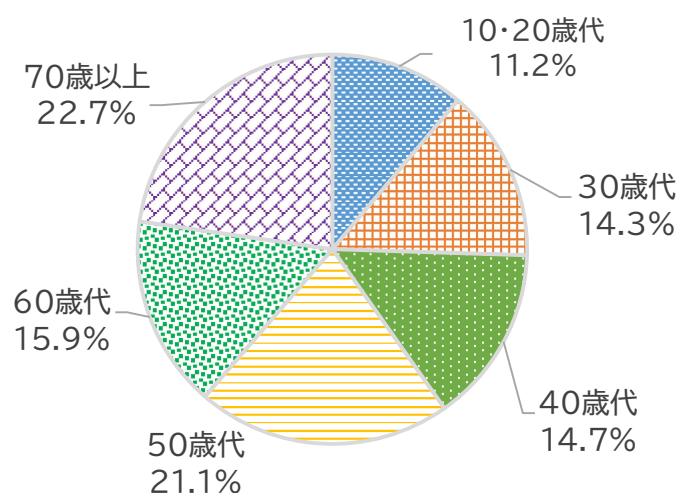
#### ◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	124	49.4
女性	124	49.4
無回答	3	1.2
合計	251	100



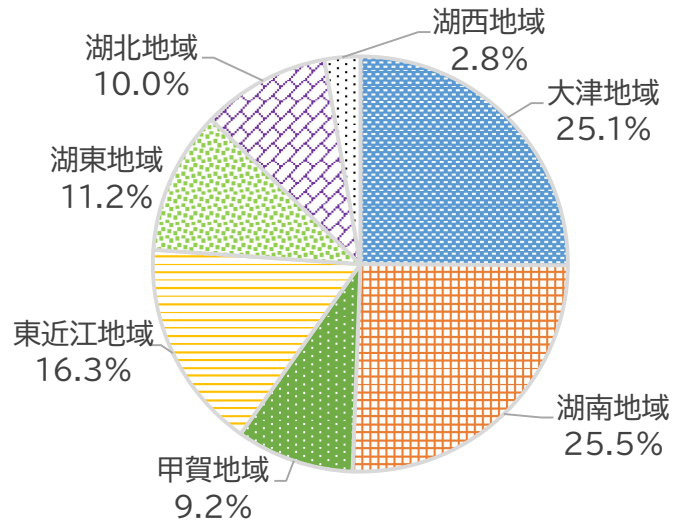
#### ◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	28	11.2
30歳代	36	14.3
40歳代	37	14.7
50歳代	53	21.1
60歳代	40	15.9
70歳以上	57	22.7
合計	251	100



◆地域

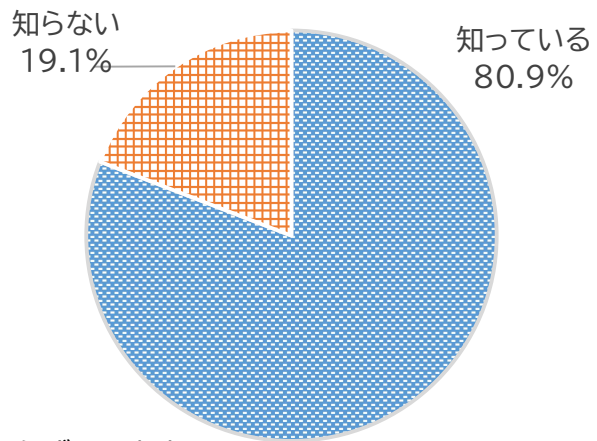
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	63	25.1
湖南地域	64	25.5
甲賀地域	23	9.2
東近江地域	41	16.3
湖東地域	28	11.2
湖北地域	25	10.0
湖西地域	7	2.8
合計	251	100



問 1. あなたは、「おいしが うれしが」キャンペーンを知っていますか。

(n=251)

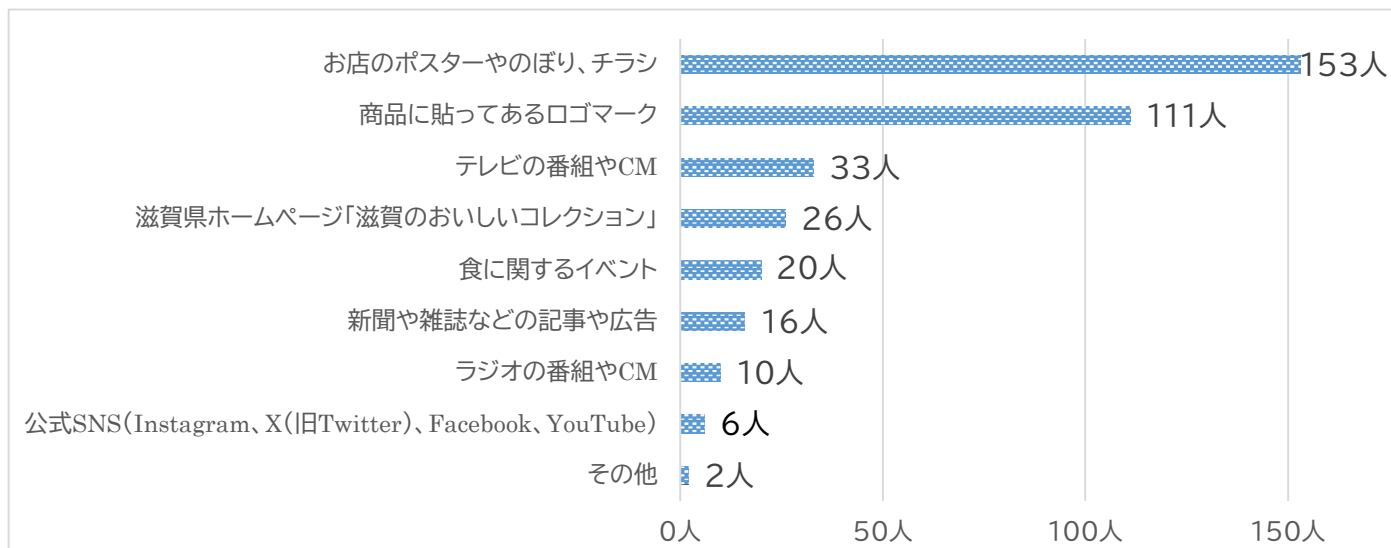
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	203	80.9
2. 知らない	48	19.1
合計	251	100



問 2. 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。

「おいしが うれしが」キャンペーンを何で知りましたか。(回答チェックは3つまで n=203)

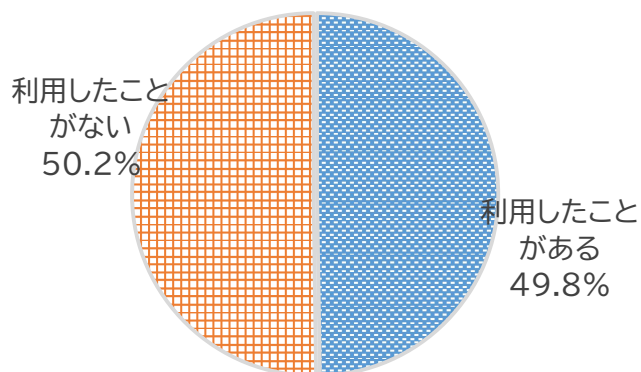
項目	人数(人)	割合(%)
お店のポスターやのぼり、チラシ	153	75.4
商品に貼ってあるロゴマーク	111	54.7
テレビの番組やCM	33	16.3
滋賀県ホームページ「滋賀のおいしいコレクション」	26	12.8
食に関するイベント	20	9.9
新聞や雑誌などの記事や広告	16	7.9
ラジオの番組やCM	10	4.9
公式 SNS (Instagram、X(旧 Twitter)、Facebook、YouTube)	6	3.0
その他	2	1.0



問 3. 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。

「おいしが うれしが」キャンペーンののぼりがある飲食店や小売店等を、キャンペーン推進店と認識して利用したことがありますか。(n=203)

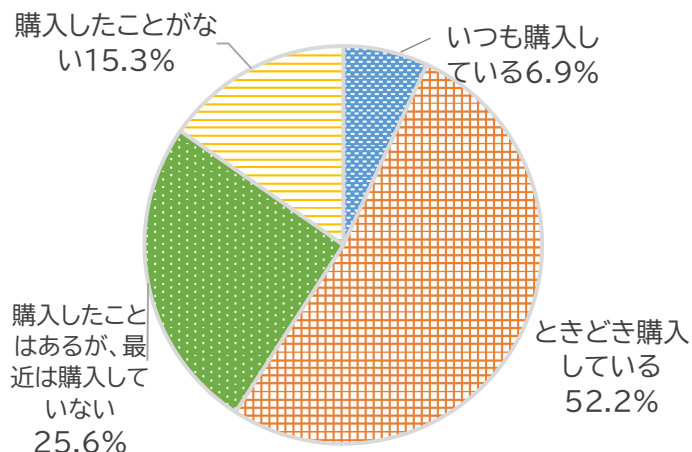
項目	人数(人)	割合(%)
1. 利用したことがある	101	49.8
2. 利用したことがない	102	50.2
合計	203	100



問 4. 問1で「1. 知っている」と回答された方におたずねします。

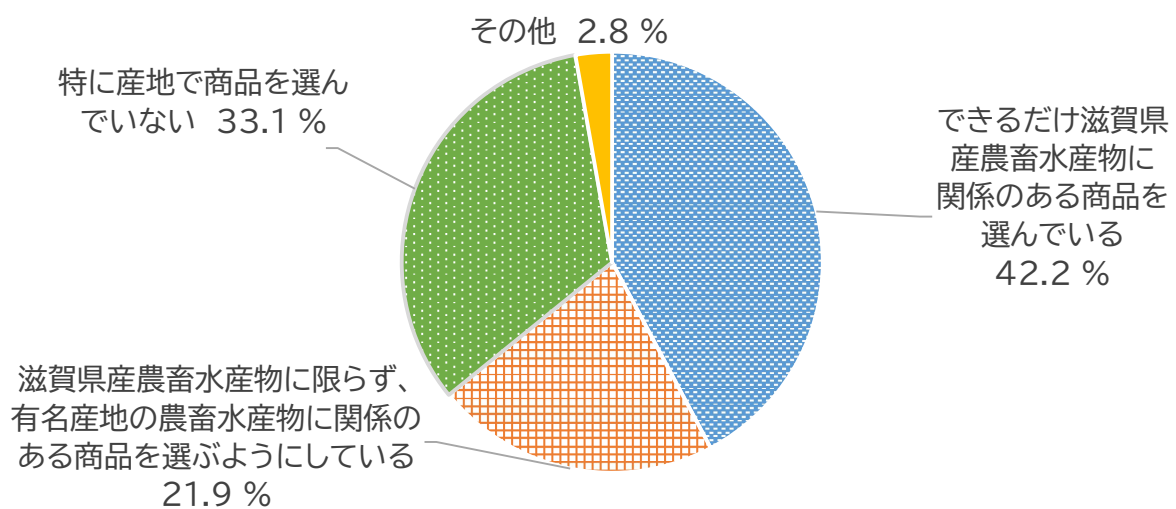
「おいしが うれしが」キャンペーンのロゴマークが入った商品を購入したことがありますか。(n=203)

項目	人数(人)	割合(%)
1. いつも購入している	14	6.9
2. ときどき購入している	106	52.2
3. 購入したことはあるが、最近では購入していない	52	25.6
4. 購入したことがない	31	15.3
合計	203	100



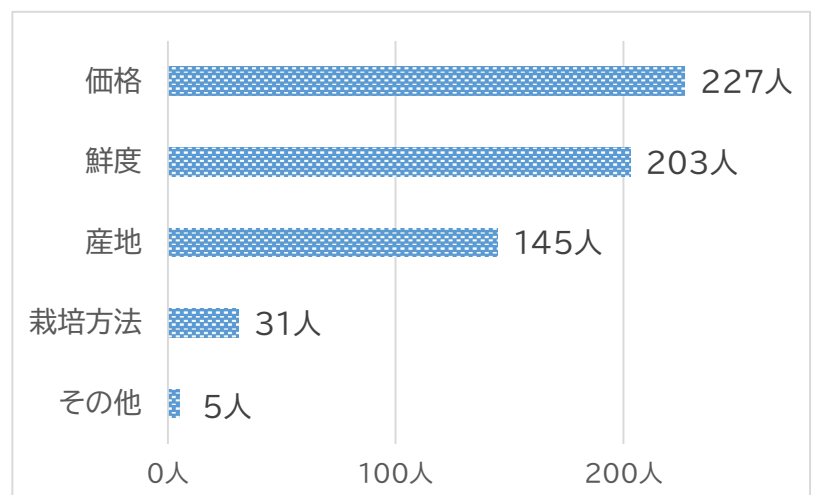
問5. あなたは滋賀県産の農畜水産物やそれを使った料理や商品を、意識的に選んで食べたり、購入されたりしていますか。(n=251)

項目	人数(人)	割合(%)
1. できるだけ滋賀県産農畜水産物に関係のある商品を選んでいる	106	42.2
2. 滋賀県産農畜水産物に限らず、有名産地の農畜水産物に関係のある商品を選ぶようにしている	55	21.9
3. 特に産地で商品を選んでいる	83	33.1
4. その他	7	2.8
合計	251	100



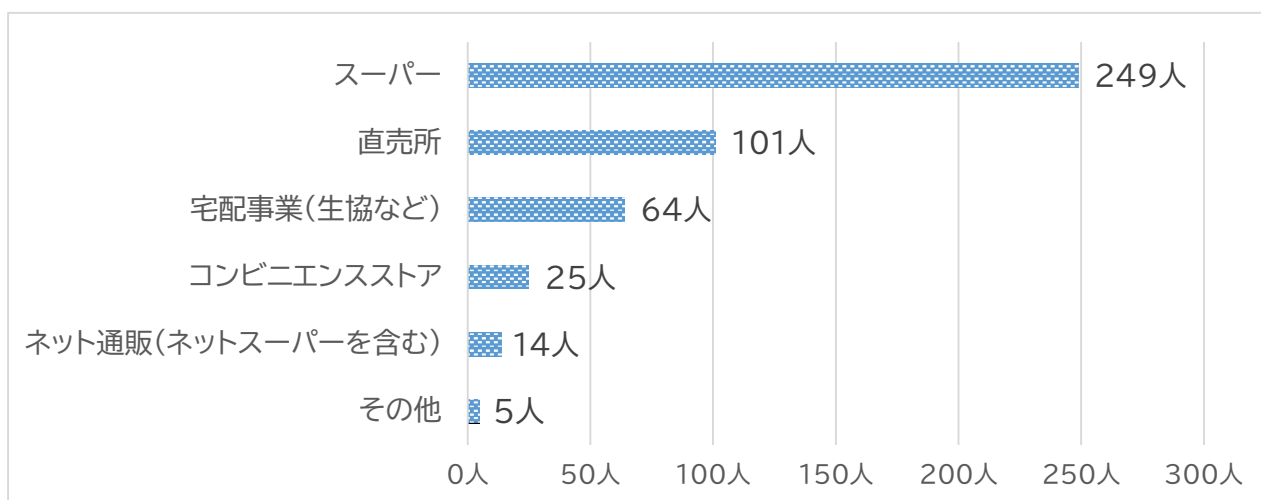
問6. あなたは、食料品を購入する際に、何を重視して選んでいますか。(回答チェックはいくつでも n=251)

項目	人数(人)	割合(%)
価格	227	90.4
鮮度	203	80.9
産地	145	57.8
栽培方法	31	12.4
その他	5	2.0



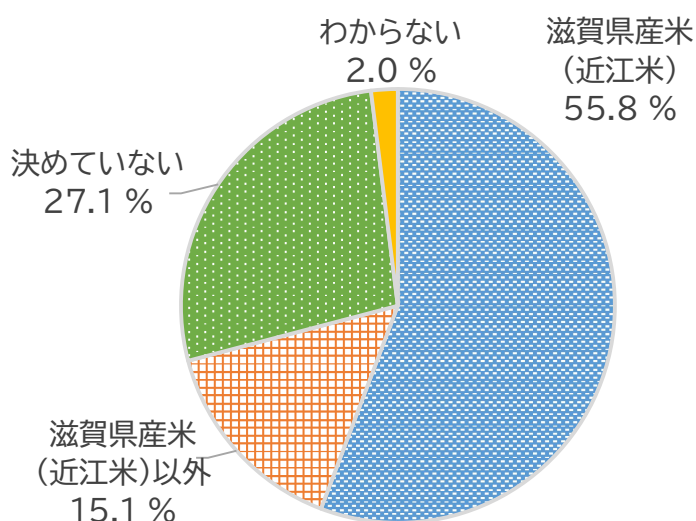
問7. あなたは、普段、食料品をどこで購入していますか。(回答チェックはいくつでも n=251)

項目	人数(人)	割合(%)
スーパー	249	99.2
直売所	101	40.2
宅配事業(生協など)	64	25.5
コンビニエンスストア	25	10.0
ネット通販(ネットスーパーを含む)	14	5.6
その他	5	2.0



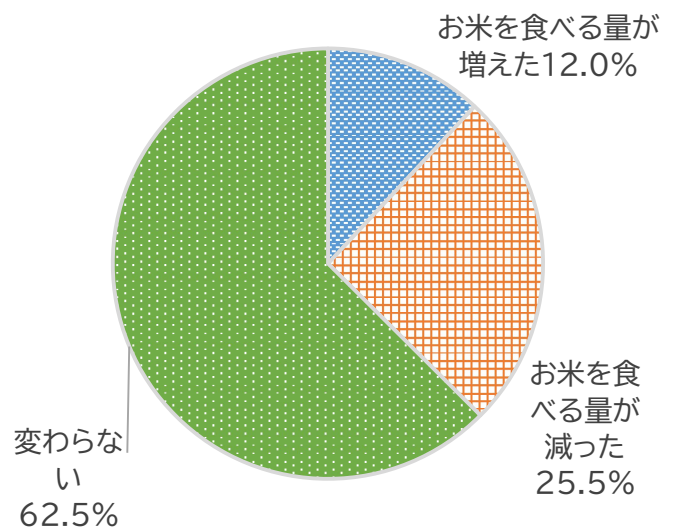
問8. あなたが普段食べているお米は次のうちどれですか。(回答チェックは1つだけ n=251)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 滋賀県産米 (近江米)	140	55.8
2. 滋賀県産米 (近江米)以外	38	15.1
3. 決めていない	68	27.1
4. わからない	5	2.0
合計	251	100



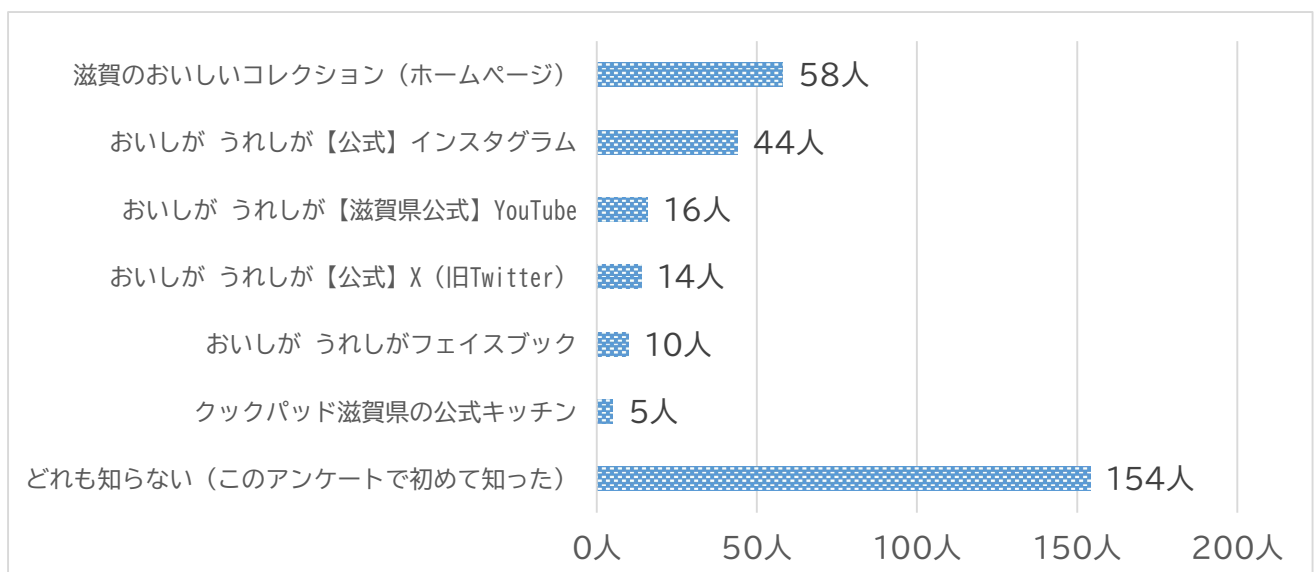
問9. 最近5年間で、あなたのお米を食べる量は変化しましたか。(n=251)

項目	人数(人)	割合(%)
1. お米を食べる量が増えた	30	12.0
2. お米を食べる量が減った	64	25.5
3. 変わらない	157	62.5
合計	251	100



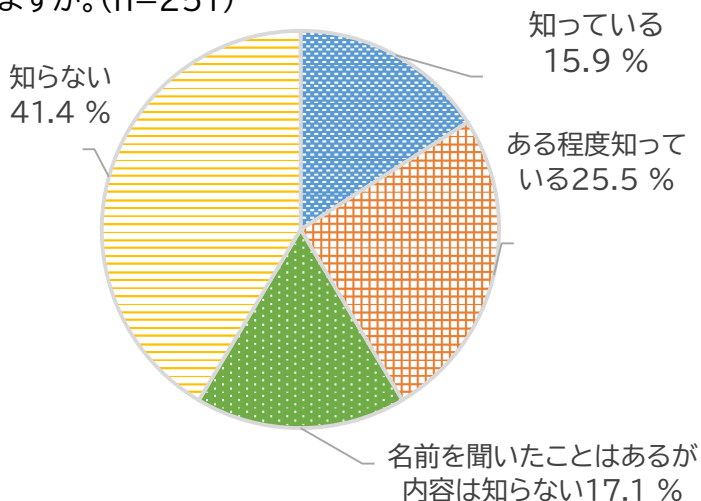
問 10. 県の食の情報発信媒体について、知っているものをすべて選択してください。「(どれも知らない(このアンケートで初めて知った))」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでもn=251)

項目	人数(人)	割合(%)
滋賀のおいしいコレクション(ホームページ)	58	23.1
おいしが うれしが【公式】Instagram	44	17.5
おいしが うれしが【滋賀県公式】YouTube	16	6.4
おいしが うれしが【公式】X(旧Twitter)	14	5.6
おいしが うれしがフェイスブック	10	4.0
クックパッド滋賀県の公式キッチン	5	2.0
どれも知らない(このアンケートで初めて知った)	154	61.4



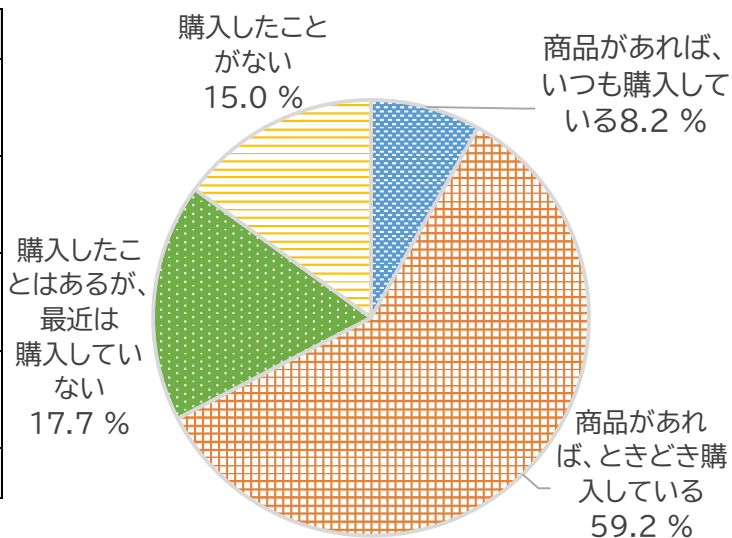
問11. あなたは、「環境こだわり農産物」を知っていますか。(n=251)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	40	15.9
2. ある程度知っている	64	25.5
3. 名前を聞いたことはあるが内容は知らない	43	17.1
4. 知らない	104	41.4
合計	251	100



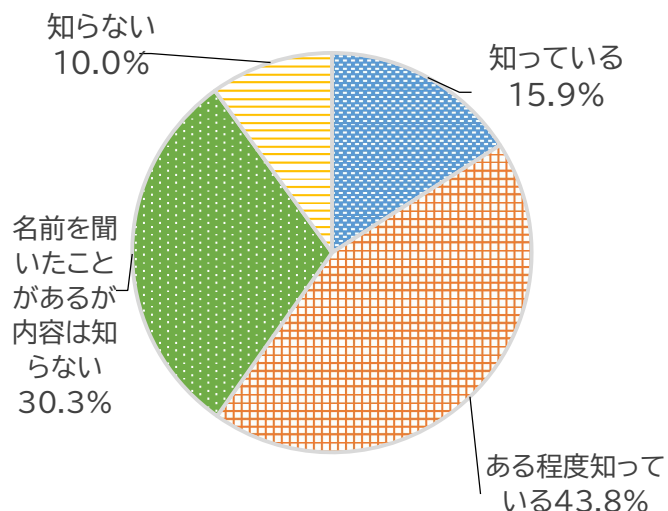
問12. 問11で「1. 知っている」、「2. ある程度知っている」または「3. 名前を聞いたことはあるが内容は知らない」と回答された方におたずねします。あなたは普段、「環境こだわり農産物」を購入していますか。(n=147)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 商品があれば、いつも購入している	12	8.2
2. 商品があれば、ときどき購入している	87	59.2
3. 購入したことはあるが、最近では購入していない	26	17.7
4. 購入したことがない	22	15.0
合計	147	100



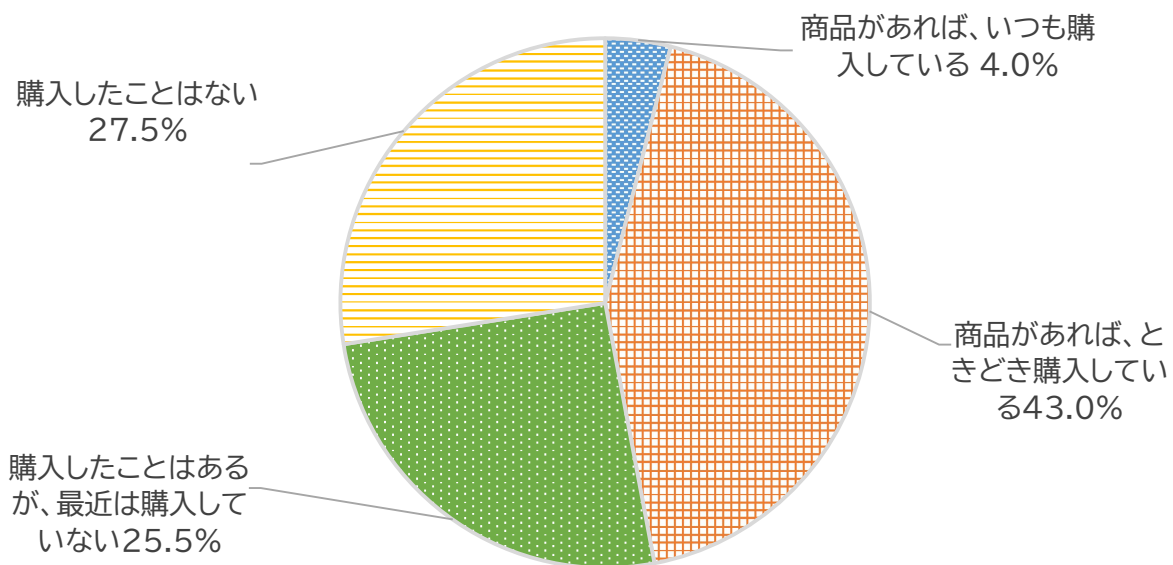
問13. あなたは、「オーガニック(有機)農産物」の定義を知っていますか。(n=251)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	40	15.9
2. ある程度知っている	110	43.8
3. 名前を聞いたことがあるが内容は知らない	76	30.3
4. 知らない	25	10.0
合計	251	100



問 14. あなたは普段、「オーガニック(有機)農産物」を購入していますか。(n=251)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 商品があれば、いつも購入している	10	4.0
2. 商品があれば、ときどき購入している	108	43.0
3. 購入したことはあるが、最近では購入していない	64	25.5
4. 購入したことはない	69	27.5
合計	251	100



問 15. その他、「おいしが うれしが」キャンペーン、「環境こだわり農産物」、「オーガニック(有機)農産物」についてご意見等がありましたらお聞かせください。(抜粋)

◆「おいしが うれしが」キャンペーンについて

- 「おいしが うれしが」キャンペーン等を通じて、地場産業が活性化するのは好意的に受け止めています。ただその一方で、他地域の地場産品も適度に取り込みながら、市場の競争を図っていくのが理想的だと考えています。過度に地場産品を保護するのではなく、品種改良やブランディングをしたりして地場産品が他地域の品よりも魅力度がUPするような施策を今後も展開していただけたらなと思っております。
- 最近ではスーパーでも県食品の表示販売も行われ始めたので、県産品以外のコーナーでも見つけやすくなりました、野菜などは特に思います。滋賀県は全国まれにいろんな野菜の栽培ができる地域だそうで、消費者として頼もしい限りです。おいしい滋賀県産に向けて行政側として育成指導をお願いしたいですね。
- スーパーの特設売り場で滋賀県産のものをなるべく買うようにしていますが、価格が高かったり、欲しい種類のものがないと別産地のものを買っている。魅力的なものを栽培してくださると嬉しいです。

- 地産地消のためにもおいしがうれしがのシールの貼っている商品を積極的に購入しようとはしている。またおいしがうれしがについてはかなり認知されているようにも思う。
- 基本的に滋賀県産の農産物を購入したいのはやまやまだがいかにせん価格が高い。滋賀の農水産物を流通させ消費するためにも価格は抑えるべき。県内での流通なのに遠方から来た食品と価格が変わらないのは納得いかない。
- 購入するときは出来るだけ滋賀県産のものを買うように心がけています。その時に「おいしがうれしが」の表示がとてもよい目印になっています。
- 滋賀の農業を支えていくために、消費者に購入してもらうことは重要で、選択してもらう手としておいしがうれしがのような付加価値があるのはいいと思う。実際には価格も見られるので、他に安い商品があればそちらを選ぶ人も多いただろう。こだわりを売り場でもしっかりアピールして、選んでもらうようにできるといいと思う。びわ湖など、環境に負荷の少ない農業も推進していけると嬉しい。

#### ◆「環境こだわり農産物」について

- 環境こだわり農産物については全く知らなかった。美味しい食品を子どもたちに食べさせていきたいので、一次産業従事者にお金が回るようにしてほしい。
- 地産地消は地元への貢献、輸送費の低下、新鮮なものが手に入るなど利点が多いので応援している。環境こだわり米の立札が水田にあるのをよく見る。わかりやすく今後も続けてほしい。

#### ◆オーガニック(有機)農産物について

- 価格上昇(物価高騰)の今、おなじお金を払うなら安全安心のオーガニック農産物を選ぶようにしている。
- オーガニック、なかなか買えませんが大事なことだとは思いますが。健康にいいだけでなく、地球環境や労働者のためにもそれが当たり前の世の中になるといいなと思います。

#### ◆共通・その他

- 近江牛など高級高品質に対して、その他の特産物は方向性はわかりにくい、と一消費者視点で思いました。てまひまかけて高品質な地産品だから、買いたいという人が増えるといいですね。
- 消費者が分かりやすいように表示して欲しいと感じる。商品にプリントされている字が小さかったり、マークがわかりにくかったりするため。
- 発信方法が限定されているため、障害者にはわかりにくいです。もちろん、どこにでもものぼりや広告があるようですが、それがすべての人に認識されるものであるかは別です。また、物価上昇の今、なかなかこだわり商品の購入は難しいのではないのでしょうか？国からの交付金を使用して、このような商品の購入促進につなげる方法はないのでしょうか？
- 滋賀県に限らず、どこの県でも、その地域独自の地産地消を推進するための様々な取組をされているが、特に滋賀県内のスーパーマーケット(特に平和堂)の各店舗では、「おいしがうれしが」をはじめとする地場野菜農畜産物のコーナーが大変充実していてとてもうれしいです。「環境こだわり農産物」、「オーガニック(有機)農産物」といった食品を専門とする店舗も県内に数店舗あり、意

識して購入しています。

- 生産者の方が一生懸命に作ってくださった食べ物に対して、きちんとこれからも作り続けてもらえるように見合った金額を支払いたい。安ければ良いという時代は終わったと思う。責任ある消費と選択が私たち消費者に求められている。
- オーガニックの定義は、農家さんにとっては厳し過ぎるので、省農薬、出来るだけ有機肥料使用のものを買って求めるようにしている。また、農家さんから、旬の不揃い野菜をまとめて安く仕入れるスーパーがないかなあ、と思う。もったいないコーナーを作られたら、イメージもよいのでは？
- おいしがうれしがは知りませんでした。もっと PR してほしい。地元で環境に配慮した農産物が増えるのはとても安心につながります。環境こだわり農産物やオーガニック農産物がもっと気軽に選べるよう、販売場所の拡大や情報発信をしてもらいたい。
- 地場地産のものをなるべく手に取りたい気持ちはあります。設置してあるお店では必ず見ますし買う機会が多いです。安くて新鮮で滋賀の食べ物は、美味しいです。オーガニックは農薬の量が違うのかなと思っていました。なかなか大人になると知る機会が減るので、売り場に詳細をポスターなどで掲示してほしいです。
- 環境に配慮することが重要であるとは分かっているけど、農産物の値段が高いと選択しないのが実情ではないかと思う。企業努力にも限界があり、人手不足もあることから回避するのは難しいかもしれない。IT をつかったスマート農業とうまくマッチできれば少しは価格を抑えられるだろうか。その為にどの様なことが自治体としてできるのか。専門家を交えての議論や若手に担ってもらうための施策も上手く進める必要があるかと思えます。
- 滋賀県ほど「環境こだわり農産物」や「オーガニック農産物」を推進している所はないと思います。ここに住めて幸せです。これからもどんどん進めてほしいです。農産物に関して①安ければいい人、②高くても体にいいものを買いたい人がいます。米不足の時に滋賀県の JA 直売所にたくさんの他県ナンバーの車が殺到していたことから考えて、②の考えの人にうまくアピールできれば売り上げも上がっていくと思います。
- 「おいしが うれしが」キャンペーンは、地元食材の魅力を丁寧に伝える好企画だと感じます。「環境こだわり農産物」や「オーガニック農産物」は、安心感があり選択肢として歓迎しますが、価格差や表示の分かりやすさが課題だと思います。生産者の取組と効果が一目で分かる工夫があれば、より消費者に浸透すると感じます。
- 「おいしが うれしが」キャンペーンや「環境こだわり農産物」「オーガニック農産物」は掲示を見かける程度で、内容を十分には理解できていません。子どもがいて家計に余裕がある方ではないため、どうしても価格を優先して選ぶことが多いのが実情です。ただ、お土産として人に勧める機会があるので、地域の特産として分かりやすく魅力を伝えてくれる“おすすめ”があれば嬉しいと感じています。
- 子どもが生まれて離乳食を始めたころから、今まで以上に産地や栽培方法などに注目するようになりました。子どもには新鮮な食材を安心して食べてもらいたいと思うので、安心安全な食材であることをどんどんアピールしてもらいたいです。また、これから子どもが大きくなり、「滋賀県で採れた食材」ということが理解できるようになったら、積極的に伝えていければいいなと思います。